

5月の園便り



「おでかけのまえに」

白ばらさんのエピソードから・・・ 26年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤由美子

ケーキ屋さんごっこをしていた白ばらのTちゃん、ケーキの上に桜の花びらを乗せて夢中になって作っていました。片付けの時間になったとき、Tちゃんは「とっておきたい」といいました。担任もまた「取っておきたい」と思いました。（担任はTちゃんが夢中になっていた“その世界”を大切にできなかったのでしょうか）そのケーキは、地面に直に作られていたもので、とっておくのは難しい状況でした。担任は、なんとかとっておけるようにと考えて、トレーの上に乘せることを思いつきました、でもケーキをトレーに乗せるのは難しかったです。そこへ、青ばらのNちゃんとOちゃんがきて「どうしたの？」と聞いてくれました。訳を話すと、二人はTちゃんの思いを分かってくれて手伝い始めました。「むずかしいな」と言いながらトレーに移そうとしていた二人です。担任が思いついて“ちりとり”を二つ持ってきました、するとNちゃんとOちゃんは「いいね～」と受け取って“ちりちとり”を使って二人で両側からすくい上げ、無事トレーに乗せることが出来ました。少しヒビが入ったのですが、そのヒビも青ばらのNちゃんとOちゃんは「大丈夫！大丈夫！」と手でそっと直してくれました。Tちゃんはこのなりゆきをじっと見つめていました・・・

遊びに夢中になっているということは、自分がやりたいことを実現して自分の世界を創っているということですから、それはとても重要なことなのです。

幼児期の遊びの定義の中の一つに「遊びそれ自体が目的である」ということがありますから、当然、出来上がったものはさほど重要ではなく、作る過程でどれだけ満足感を味わえたかが重要になるのです。しかし、遊びの余韻は大切にしたいですね。Tちゃんが夢中になって創ったその世界を、ケーキをとっておくことによって守ることができますね。

青ばらのお姉さんたちが、大切なケーキをトレーに移すことに力を注いでくれたことは、自分の遊びを大切にしてもらおう＝Tちゃん自身が大切に思ってもう、ということにつながります。人に認められた嬉しさと人の優しさが心に刻まれた体験です。きっといつか、同じような出来事に会ったら、Tちゃんは自分がしてもらったように思いやりをプレゼントしてあげることでしょう。ところで、Tちゃんが創ったケーキを取っておいても、そのケーキをどうするのか？・・・実は、こうして“とっておいたもの”は忘れられることも多いのです。でも、たとえ忘れられても、それでいいのです・・・子どもたちは次の日には、また新たな世界を創造していくのです。いつまでも“昨日”にとらわれてはいないのです。常に前を向いて進んでいく子どもたちです。出来上がったものに価値を見出し執着するのは大人ですね、大人は結果〈できたもの〉を重視しますが、子どもたちは遊びの過程で得たことや感じたことで満足できます。こんな大人と子どもとの違いを理解して、子どもたちが遊びの過程で『人として大切なこと』をたくさん学んでいることを、大人は“ただただ信じる”という姿勢を持って、見守っていかなければならないですね。

5月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	木	○	2:00		
2	金	○	2:00		
3	土	/	/	憲法記念日	
4	日	/	/	みどりの日	
5	月	/	/	子どもの日	
6	火	/	/	振替休日	
7	水	○	2:00	定期健康診断を行います。	
8	木	○	2:00	赤ばらさんは試食会です。	
9	金	○	2:00	赤ばらさんは試食会です。	
10	土	/	/	第2土曜日	
11	日	/	/		
12	月	○	2:00	赤ばらさん本日より給食開始, 2:00降園になります。	
13	火	○	2:00		
14	水	○	2:00		
15	木	○	2:00		
16	金	○	2:00	父母の会総会が開かれます。	
17	土	×	11:30	自由登園日	
18	日	/	/		
19	月	○	2:00	赤ばら1組学級懇談会	
20	火	○	2:00	赤ばら2組学級懇談会	
21	水	×	11:30	誕生会です, 5月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう。	
22	木	○	2:00		
23	金	○	2:00		
24	土	/	/	第4土曜日	青ばらさんの希望の方々田植え
25	日	/	/		
26	月	○	2:00	本日より幼児教育学科実習生が入ります。	
27	火	○	2:00		
28	水	○	2:00		
29	木	○	2:00		
30	金	○	2:00		
31	土	×	11:30	「森の探検隊」保護者の皆様、一緒に森を探検しましょう。	